

援、要介護状態になる可能性の高いお年寄りを早期に発見し、総合的に介護予防対策に取り組み、元気なお年寄りが増えるよう事業を展開するとともに、除雪サービスなど高齢者福祉サービスの充実を目指します。

また、本年度よりスタートする「第3期介護保険事業計画」において、第1号被保険者の介護保険料を適正な月額に改定し、市民が納得し信頼できる制度となるよう努めます。



障害者福祉につきましては、平成19年度をスタート年とする「障害者計画」及び「障害福祉計画」を策定し、障害者の自立支援に向けた施策づくりに取り組みます。

また、精神に障害を持つ人たちの「心のケア」や「生活指導」など、相談支援体制を新たに整備するとともに、

精神障害者支援団体の法人化など自主自立に向けた準備作業を進めてまいります。

児童福祉につきましては、「次世代育成支援行動計画」の推進や、土曜日終日保育の試行実施など、子供たちが健やかに育まれる子育て環境づくりに努めます。

また、乳幼児医療の3歳から就学前までの自己負担1割分について、支援を実施してまいります。



ごみ処理対策につきましては、資源ごみの分別収集や有料化などにより、家庭系ごみは減少しているものの、依然として、事業系ごみは一定の推移を示しております。埋立処分場の残余年数が逼迫していることから、更なるごみの減量化緊急対策に取り組みほか、老朽化の著しい埋立処分場汚水処理施設の改修を実施し

てまいります。

併せて、西紋町村と協議を進めております新しいごみ処理施設整備については、引き続き処理方法などの検討協議を深め、早い時期に一定の方向性を示したいと考えております。

郊外地区の生活排水処理対策につきましては、生活環境の向上や環境保全対策のため、補助制度や住宅改造資金貸付制度の整備により、合併処理浄化槽設置の普及促進を図ってまいります。

上水道につきましては、企業会計としての独立採算制が図れるよう、経営の健全化を推進するとともに、老朽管の計画的な布設替えを進め、「安全で安心できる水」を供給してまいります。

下水道につきましては、アクアセンターの電気設備の更新及び区域拡大に伴う下水道管の整備を計画的に進めるとともに、未水洗化世帯への周知徹底を行ってまいります。

また、本年度より、公営企業法適用に向けた準備作業に着手し、適正な経費負担と料金設定が行われる企業会計化を目指し、経営の健全化に努めます。

道路につきましては、未舗装地区の解消など生活道路の整備をはじめ、市道6丁目線の歩道新設や歩道のオーバーレイなど市街地の歩道整備を計画的に進めてまいります。

また、市街地化が進み、道路新設が求められている緑団地公営住宅周辺の市道整備の調査設計に着手するほか、除雪グレーダの計画的な更新を進めてまいります。

河川につきましては、渚滑川上渚滑市街地の河川改修が実施されるよう国に要請するとともに、渚滑古川の河川環境改善が、早期に整備されるよう北海道に要請してまいります。

また、元新1号川の改修に着手し、大雨時の災害対策に努めます。



市営住宅につきましては、緑団地の平成19年度完了に向け、2棟16戸を建替えるとともに、「住宅マスタープラン」に基づき、既存団地の建替えや、民間誘導を視野に入れたまちなか居住のシステムづくりなど、事業化に向けた準備作業を進めてま



まいります。

また、旭丘団地の屋根改修や、南が丘団地の外壁防水及び階段手摺の設置など、計画的に改修してまいります。

道立オホーツク流水公園につきましては、北海道施行分は活動の拠点施設である「あおぞら交流館」の周辺整備など、引き続き事業が進められる予定であります。

また、紋別市が施行する花畑については、敷地造成など基盤整備に着手してまいります。

消防・救急・防災につきましては、新興地域など消火栓の未設置地区の解消を図るとともに、消防梯子車の整備点検を進めるなど、万全な消防・救急体制の確保に努めます。

また、緊急時の救命措置を図るため、自動体外式除細動器（AED）を健康プール及びスポーツセンターに新たに設置します。

このほか、不意の武力攻撃災害時に対処するため、「市民を保護する計画」を策定するとともに、災害時における避難場所や避難用具など防災マニュアルの市民周知を徹底してまいります。

交通安全・防犯につきましては、事件・事故がない「安全なまち」が市民の願いであります。市民一人ひとりの交通安全意識を高め、市民を挙げて交通事故絶滅に向けた啓発や

運動を展開してまいります。

また、最近、全国的に増えてきている「振り込め」詐欺や、予想もつかないネット犯罪、さらに不審者の発生など、その対策に向け、地元警察や防犯協会など関係機関、地域とも連携を密にし、市民ぐるみで、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

主な事業など

・道立紋別病院医師確保に向けた要請活動 102万円

・上渚滑歯科診療所の改修 742万円

・障害者計画及び障害者福祉計画の策定 69万円

・精神障害者相談員の配置と精神障害者支援団体の自立化準備作業 244万円

・保育所土曜日終日保育の試行 445万円

・郊外地区合併処理浄化槽設置に係る助成制度の創設 2、361万円

・まちなか歩道整備の事業着手（市道6丁目線） 1、430万円

・南が丘団地及び旭丘団地改修（手摺り設置・屋根） 1、000万円

・道立オホーツク流水公園紋別市施行分花畑の事業着手 5、093万円

## 目標3

# 交流ふれあいが広がるまち

地方のいずれの都市も人口増が望めない人口減少時代に入り、本市は、流水に代表される自然や食などの地域資源、災害の少ないまちをセールスポイントに、様々な事業展開をすることが、このまちにとって重要となつてきております。

国内外の人々が行き交う、まちに元気と活気の溢れるまちづくりを進めてまいります。

移住者・滞在者の誘致につきまちは、平成19年度より全国的に発生

する団塊世代の退職者など目的を絞り、紋別市も官民挙げて受け入れ体制を整備するなど、誘致に向けた積極的なプロモーション活動を展開してまいります。

本年度より北海道移住促進協議会や旅行エージェントと連携し、首都圏を中心とした短期・長期の移住体験ツアーなどPR活動に力を注ぎ、この地域ならではの自然や食などを満喫してもらい、季節移住から定住へと段階的に進めてまいります。

スポーツ合宿・修学旅行等の誘致につきましては、これまでもハンドボール、水泳、陸上競技など数多くの合宿誘致の実績があります。

本年度より、この紋別の冷涼な気候風土と東京直行便などの優位性を売りに、紋別のあらゆるネットワークと連携した中で、企業や大学などに対し、精力的に誘致活動を展開し



てまいります。

また、本年度は全日本男女のハンドボールや拓殖大学陸上部の紋別強化合宿に支援してまいります。

観光振興につきましては、「知床」の世界自然遺産登録や「流水とガリンコ号」の北海道遺産登録などにより、オホーツク観光が益々脚光をあ